

平成 28 年 11 月 25 日

保健所業務の改善に関する要望書

三重県知事 鈴木英敬 殿

三重県鈴鹿市

NPO 法人 グリーン Net

武藤安子

日頃より愛護動物との共生事業にご尽力くださり、厚く御礼申し上げます。

さて、本書は、11 月 18 日に開催しました第 1 回意見交換会において、参加市民より出された意見をまとめた要望です。動物との共生推進と、保護を担う保健所業務の改善につながる重要な事項ですので確実に業務へ反映されますようお願い申し上げます。

また、本要望について、本県のお考えを 12 月 16 日までにご回答いただけますようお願いいたします。

要望 ①	健康福祉部食品安全課は、飼い主のいない猫との共生プランのチラシを作成し、インターネットや県政だより、地域の回覧などあらゆる媒体を使って全県民に周知啓発をしてください。
趣旨 概要	本県が取り組んでいる飼い主のいない猫との共生事業が県民に周知されていないため、猫問題の解決方法を知らないことが多く、県民に大きな負担となっています。
実施 時期	即時

要望 ②	保健所は、飼い主のいない猫との共生の取組みである TNR、地域猫活動に積極的に取り組んでください。
趣旨 概要	本県のこれまでの駆除一辺倒の指導によって、県民は誤った認識を植えつけられました。これは猫との共生事業を進める上で大きな障害となっています。行政自ら共生の取組みを主導することで、この障害を払しょく出来るものと考えます。苦情の窓口である保健所が地域の猫問題に素早く対応し、解決へと導かれるよう期待します。
実施 時期	即時